



平原康を軸に関東勢

青森競輪開設68周年みちのく記念「善知鳥杯争奪戦」が9月27～30日の日程で開催される。8月富山記念、共同通信社杯で優勝を争った平原康多、浅井康太がここでも激突。地元勢ではオールスターでも活躍した新山響平の走りに期待が高まる。

ここも平原康多、浅井康太の両雄が優勝争いの中心だ。2人は8月富山記念の優秀、決勝、共同通信社杯の決勝と対戦が続いている。富山では星を分け、共同通信社杯は優勝と3着だった両者の実力は互角だが、地区的な戦力でも今シリーズは平原に分がありそう。平原の富山は前走のオールスター最終日に落車した影響も少なからずあった。それが共同通信社杯では一次予選こそ失敗も、2戦目以降は3

連勝。改めて輪界トップのオールラウンダーの底力を示した。さらに今シリーズは吉田拓矢、芦澤辰弘と強力な茨城コンビもいる。平原を軸に関東勢で結束すれば他地区にとつて最大の脅威になる。吉田は8月松戸記念の優出、オールスターの2連対と調子は上向き。芦澤も今年はダービー、高松宮記念杯で準決勝に勝ち上がるなど力をつけた。ともに記念初優勝を狙えるだけの状態にある。



平原康多

富山の再現狙う浅井康

とはいえ浅井の実力も侮れない。6月久留米、8月富山と立て続けに記念を制覇。久留米では2段駆けの九州4車、富山では平原を軸に結束した埼玉トリオを自力で破ったの優勝だ。今シリーズもメンバー構成的に自力で戦うケースが増えそうだが、近況の走りを見るかぎりまったく問題にしないだろう。富山記念決勝がそうだったように、他地区がしつかりとしたラインで挑もうと、高い個の能力でねじ伏せる。

浅井が前を任せる事があるなら松岡健介、川村晃司の近畿両者だ。ともにシリーズ屈指の機動型で、優勝を狙えるだけの力を持っている。

平原、浅井の2強に割って入れば、まずは原田研太郎になるだろう。オールスターは⑨③⑨⑧着と大きな数字を並べたが、状態自体は悪くない。展開に泣かされた部分も大きかったはずで、むしろフレームを戻して3連勝した8月立川のスピードが原田本来のものだ。阿竹智史は7月当所での落車で鎖骨、ろつ骨を骨折して2カ月の欠場。共同通信社杯で実戦復帰も、まだ完調には程遠い。一方、渡部哲男は鋭いキメ脚で好調を維持している。徳島コンビと呼び、優勝争いに加わってくるだろう。

新山響平にとつても負けないシリーズだ。オールスターの走りを見るかぎり、S班をはじめ強敵が相手でも好成绩が期待できそう。寛仁親王牌まで気の抜けない1カ月になるが、オールスターからの空いた時間で戦い抜くだけの準備を整えているはずだ。同じく地元の高橋陽介も練習中の肩鎖関節脱臼から復帰一途。新山とタッグを組んで、高谷雅彦以来18年ぶりとなる地元記念制覇を狙う。

南関東はセッティングを変えて臨んだオールスターで動きのよかった根田空史が中心。伊勢崎彰大、渡邊晴智と後ろを固める追い込み陣も充実している。

注目は、オールスターでG1初出場、初優出を決めた山崎賢人。それがフロックでないことを共同通信社杯①①④着の走りで早速証明してみせた。デビュー最速でのビッグVは果たせなかったが、思い切った仕掛けが決まれば、平原、浅井を破っても不思議ない。



浅井康太

新山響が地元で奮起

新山響平にとつても負けないシリーズだ。オール

青森記念 出場予定選手

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	平原康多	埼玉	87期	118.34	S2	紺野哲也	宮城	69期	102.22
	浅井康太	三重	90期	117.24		光岡義洋	愛知	73期	95.88
S1	西川親幸	熊本	57期	106.24		荻野哲	神奈川	75期	97.96
	内藤宣彦	秋田	67期	105.08		松永晃典	静岡	76期	93.91
	稲村成浩	群馬	69期	108.33		兄玉慎一郎	香川	76期	97.84
	前田拓也	大阪	71期	105.00		竹田和幸	岐阜	78期	95.71
	佐藤康紀	青森	73期	104.67		八日市屋浩之	石川	79期	99.29
	渡邊晴智	静岡	73期	109.12		井手健	長崎	79期	97.52
	小坂敏之	栃木	74期	101.10		木村貴宏	茨城	80期	93.35
	齋藤登志信	宮城	80期	109.67		吉永和生	山口	80期	100.38
	伊勢崎彰大	千葉	81期	108.20		國村洋	広島	80期	104.41
	友定祐己	岡山	82期	104.00		三槻智清	佐賀	80期	97.60
	林雄一	神奈川	83期	105.22		飯尾主税	静岡	81期	93.38
	笠松信幸	愛知	84期	105.69		土屋裕二	静岡	81期	102.18
	渡部哲男	愛媛	84期	111.67		坂本晃輝	佐賀	81期	92.83
	川村晃司	京都	85期	108.35		兵藤一也	群馬	82期	100.33
	松岡健介	兵庫	87期	108.67		吉岡篤志	徳島	82期	99.47
	佐藤友和	岩手	88期	105.20		手島志誠	群馬	83期	99.81
	高橋陽介	青森	89期	105.43		小橋秀幸	青森	85期	101.29
	阿竹智史	徳島	90期	107.07		小林則之	静岡	85期	101.78
	坂本亮馬	福岡	90期	106.96		榊原洋	岡山	85期	93.25
	林巨人	愛知	91期	106.57		佐々木省司	青森	86期	100.97
	山田義彦	埼玉	92期	101.59		竹内公亮	岐阜	86期	99.70
	新山響平	神奈川	93期	99.87		溪飛雄馬	愛媛	86期	95.95
	中野彰人	和歌山	93期	103.87		齋藤正国	栃木	87期	96.52
	岡光良	埼玉	94期	109.04		長田祐弥	神奈川	87期	99.18
	根田空史	千葉	94期	110.82		近藤俊明	神奈川	87期	100.75
	芦澤辰弘	茨城	95期	112.35		岡崎景介	石川	87期	94.28
	小原太樹	神奈川	95期	107.44		金成和幸	福島	88期	100.43
	坂口晃輔	三重	95期	108.61		三上佳孝	千葉	88期	98.87
	黒田淳	岡山	97期	105.06		松山桂輔	愛知	88期	98.96
	柳詰正宏	福岡	97期	104.29		三宅裕武	三重	88期	95.54
	原田研太郎	徳島	98期	112.08		明田春喜	北海道	89期	100.38
	新山響平	青森	107期	113.00		佐藤朋也	秋田	89期	100.55
	阿部拓真	宮城	107期	106.29		伊藤大彦	徳島	89期	101.19
	吉田拓矢	茨城	107期	110.77		吉田裕全	埼玉	90期	100.07
	渡邊泰夫	大阪	62期	91.18		高橋雅之	千葉	90期	99.57
	石田洋秀	広島	64期	96.46		篠塚光一	兵庫	90期	96.66
	池田智毅	和歌山	68期	94.79		小田倉勇二	栃木	91期	90.56

※2018年9月18日現在のデータです。